

2018第十屆國際學術研討會-預防與延緩失能的樂活憩享照護策略

The 10th International Academic Conference 2018に参加しました。

◎中台科技大学 Central Taiwan University of Science and Technology



5月17日(木)～20日(日) 本学看護学科教員3名、学部4年生5名、卒業生1名が、台湾の台中市にある中臺科技大学を訪問しました。学術交流協定先である中臺科技大学で開催される「第10回国際学術会議」に参加し3演題のポスター発表・講義聴講・キャンパスツアーなどを通して学生・教員間の国際交流を図りました。

2018 第十屆國際學術研討會-預防與延緩失能的樂活憩享照護策略

看護学科4年生と卒業生が行った研究について3演題のポスター発表をしました。この日のために研究を見直し、英文のポスター作成など多くの準備をして臨みました。今回が初めての学会への参加で貴重な経験ができ、実績を積むことができました。



英語による講義を聴講

米国の研究者によるコミュニケーション戦略に関する講義を聴講しました。英語による講演でしたが、私達は内容を十分に聞き取ることが難しかったため、リスニング力を身につけたいと感じました。また、各席にはマイクがついており質問しやすい環境が整っていて意見交換が活発に行われていました。



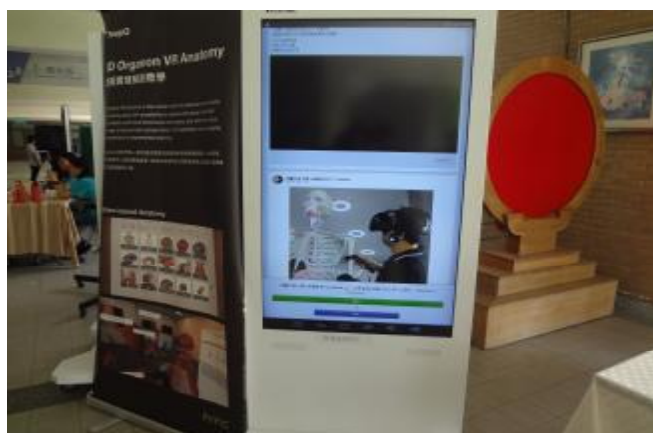
校内見学



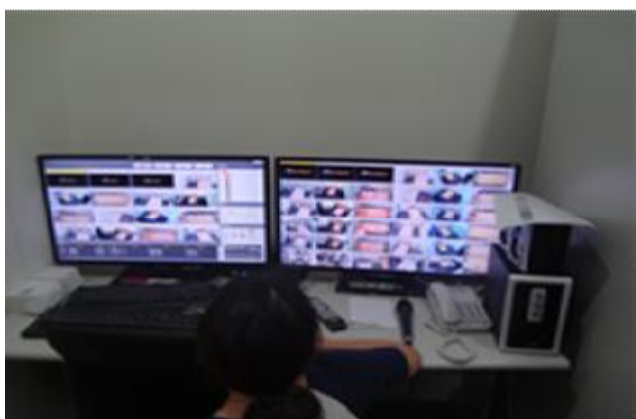
I VR体験

VRを使用し、人体について学ぶ体験をしました。VRを装着すると骨格や筋肉、内臓、血管などが3D画像で見え、知りたい部位に焦点を当てると、その部位の機能について確認することができます。

特に心臓に関しては、症状の悪化した場合の病態について学び、所々で出される問題に解答することが出来ました。勉強してきたことが活かされ嬉しかったです。



I OSCE (オスキー) 見学



OSCEとは客観的臨床能力試験のことです。判断力・技術力・マナーなど実際の現場で必要とされる臨床技能の習得を適正に評価する方法です。病室を想定した部屋が12室あり、各部屋にカメラが付いています。モニター室から教員が見ており、指示を受け試験を行います。自分が試験を受けることを想像しただけで緊張しました。しかし、このような試験があることで自信を持って臨床実習に臨めると思いました。



I 新生児・乳児モデル

本学にもシュミレーション教育のための色々なモデルがありますが、アルコール中毒や薬物中毒の母親から生まれた乳児のモデルを初めて見る事ができ、母親への健康教育について考える機会になりました。

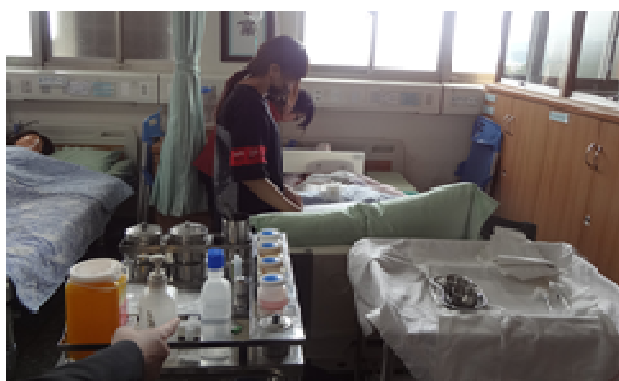


薬物中毒



アルコール中毒

I 技術演習室



中臺科技大学の学生が、技術試験に備えて練習をしているところを見学させていただきました。C Vカテーテルを挿入しているモデル人形に対しての看護技術の練習を真剣に行っていました。



I 手術演習室



選択科目の一部として、手術室看護の演習を行うための演習室を見学することができました。

中臺科技大学の上級生が下級生を指導し、器械類やガウンの着用方法について説明を行っていました。日本でもこのような経験ができるとより学びが深まると感じました。

ナイトマーケットに行ってきました！



昼間に続いて中臺科技大学の学生に、台中のイチョンナイトマーケットを案内してもらいました。

学生とのやりとりには英語を使いました。私達の不十分な英語にもかかわらず、同行した学生達が優しく意味を汲み取ってくれました。



ナイトマーケットでは、学生おすすめのタピオカミルクティー、半月餅、胡椒餅、小籠包などを食べました。台湾独特の味もあり、台湾文化に触れることができ、充実した日を過ごすことができました。

台湾に友人ができ、この出会いを大切にしたいと思います。

以上、参加学生



今回参加した学生は、学術協定校の学習環境を知ること、学会発表を通しての国際交流の経験をすることができました。将来、この貴重な経験を活かしてほしいと思います（引率教員一同）。